

第53回 杉並区区民意向調査

区政に関する意識と実態

(要約版)

この小冊子は、令和3年5月に実施しました「第53回杉並区区民意向調査」の結果のあらましです。ご協力いただきました区民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

詳細につきましては、区政資料室、区立図書館、地域区民センターに備え付けの調査報告書をご覧ください。

令和3年10月

杉並区 総務部 区政相談課

【調査のあらまし】

- ・調査対象 満18歳以上の区民
- ・対象者 無作為抽出による3,000人
- ・調査方法 郵送配布・郵送回収またはインターネット回答
- ・回収数 1,417人
- ・回収率 47.2%
- ・調査時期 令和3年5月

【小冊子の見方】

- ・nはその設問の回答者数を表しています。
- ・回答結果は件数を基数とした百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合は合計が100%を超える場合があります。

【調査項目】

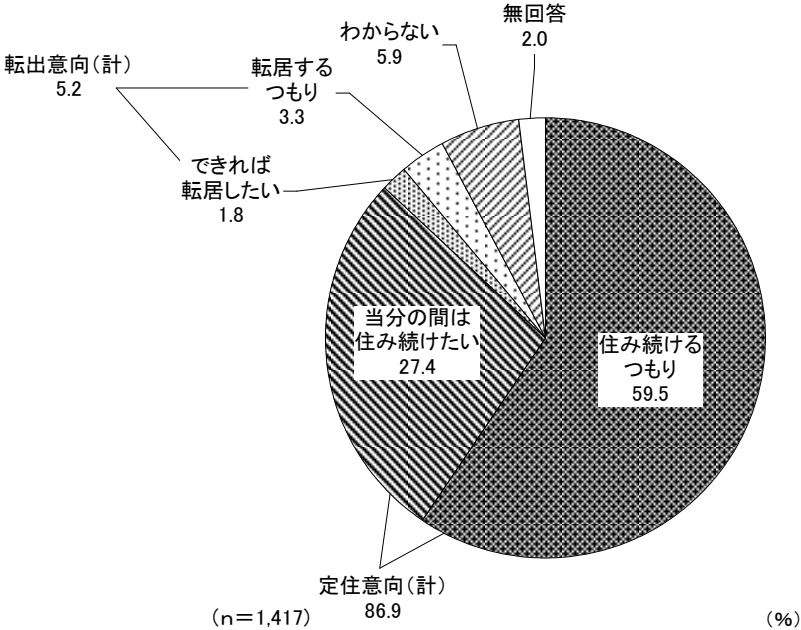
1. 定住性と生活環境について
2. 健康と医療、社会参加活動状況について
3. 地域防災について
4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について
5. 区の情報について
6. 子育て支援に関する意向について
7. 商店街について
8. 高齢者在宅支援について
9. 環境に配慮した行動について
10. 運動・スポーツについて
11. 駅周辺の満足度について
12. 狭あい道路拡幅整備について
13. 障害を理由とする差別や偏見について
14. 生涯学習について
15. 区役所のデジタル化について
16. その他の区政について

1. 定住性と生活環境について

定住意向

『定住意向（計）』が9割近く

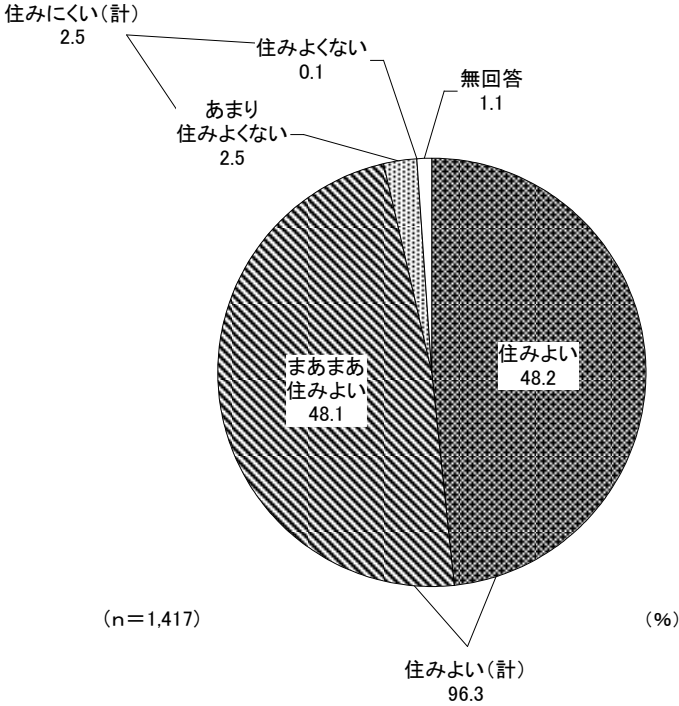
- ◆ 定住意向を聞いたところ、「住み続けるつもり」（59.5%）が6割で最も高く、これに「当分の間は住み続けたい」（27.4%）を合わせた『定住意向（計）』（86.9%）は9割近くとなっています。一方、「できれば転居したい」（1.8%）と「転居するつもり」（3.3%）を合わせた『転出意向（計）』（5.2%）は1割未満となっています。



住みやすさ

『住みよい（計）』が9割半ば

- ◆ 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思いか聞いたところ、「住みよい」（48.2%）と「まあまあ住みよい」（48.1%）を合わせた『住みよい（計）』（96.3%）は9割半ばとなっています。一方、「あまり住みよくない」（2.5%）と「住みよくない」（0.1%）を合わせた『住みにくい（計）』（2.5%）はわずかとなっています。

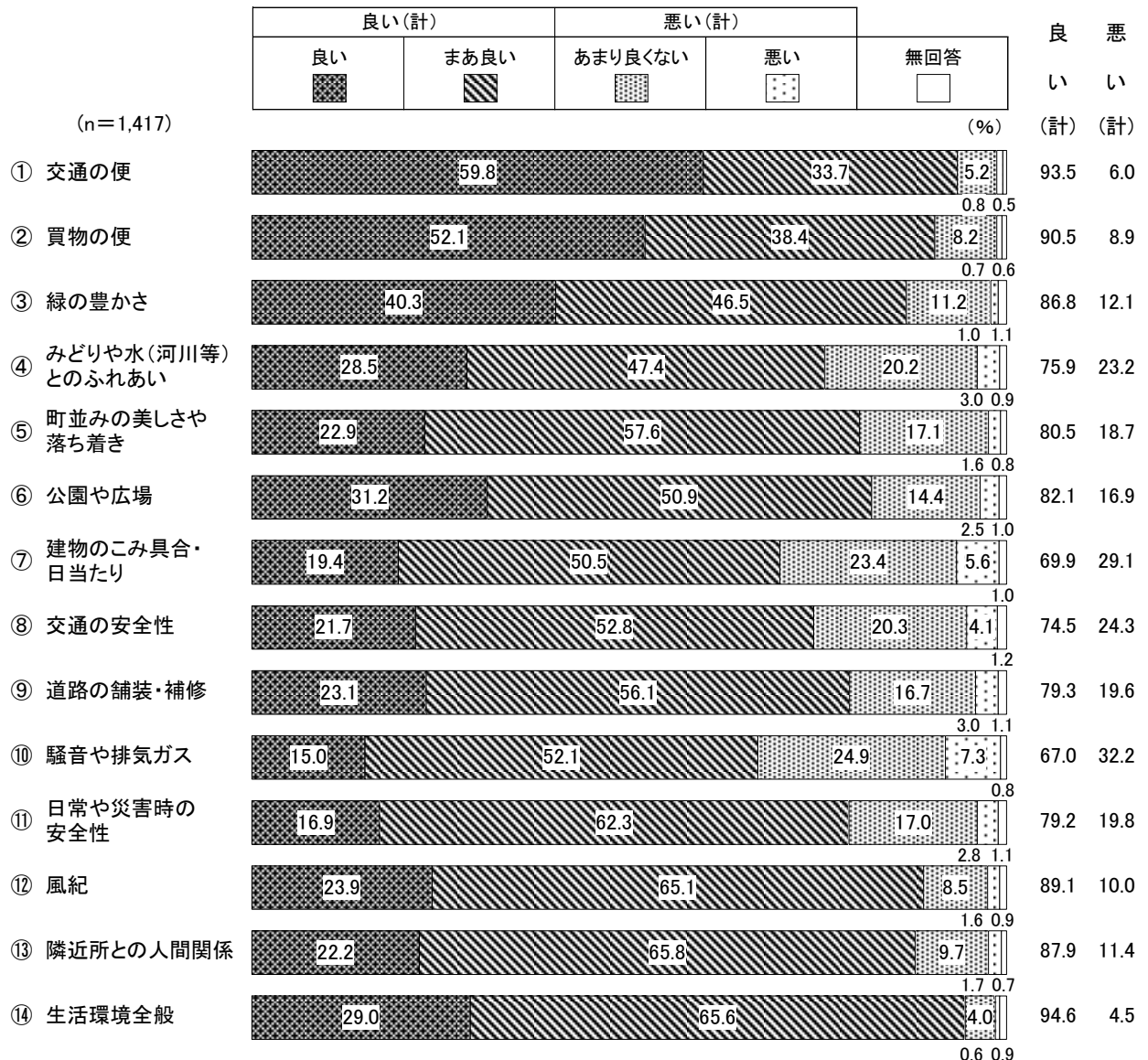


生活環境の評価

<生活環境全般>の『良い(計)』が9割半ばで高評価

◆ 自宅周辺の生活環境について聞いたところ、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い(計)』は【生活環境全般】(94.6%)が9割半ばで最も高く、次いで【交通の便】(93.5%)、【買物の便】(90.5%)、【風紀】(89.1%)、【隣近所との人間関係】(87.9%)などの順になっています。

一方、「あまり良くない」と「悪い」を合わせた『悪い(計)』は【騒音や排気ガス】(32.2%)が3割を超えて最も高く、次いで【建物のこみ具合・日当たり】(29.1%)、【交通の安全性】(24.3%)、【みどりや水(河川等)とのふれあい】(23.2%)などの順になっています。

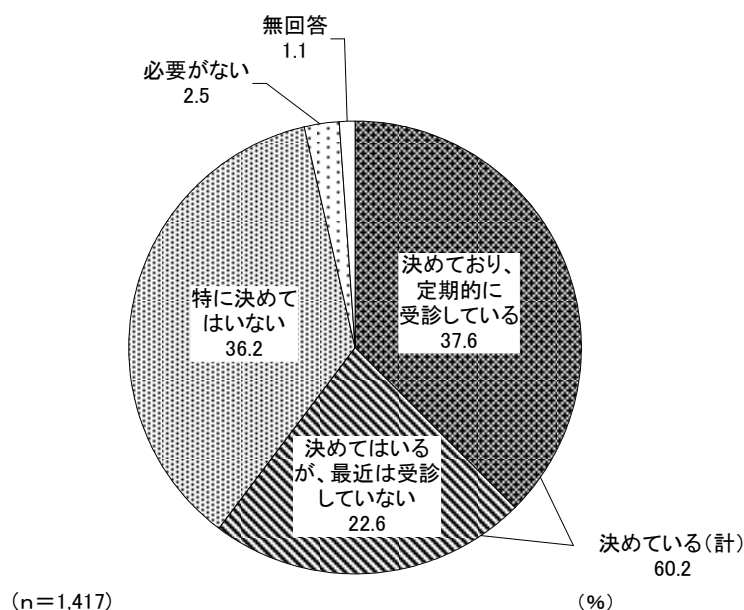


2. 健康と医療、社会参加活動状況について

かかりつけ医の有無

かかりつけの医者を『決めている（計）』人が6割

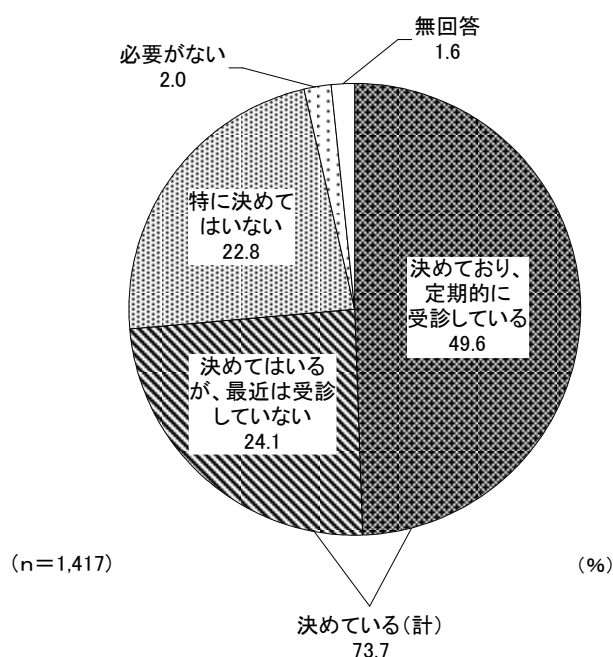
- ◆ かかりつけの医者を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的に受診している」(37.6%)が4割近くで、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(22.6%)を合わせた『決めている（計）』(60.2%)は6割となっています。一方、「特に決めてはいない」(36.2%)は3割半ば、「必要がない」(2.5%)はわずかとなっています。



かかりつけ歯科医の有無

かかりつけの歯科医を『決めている(計)』人が7割を超える

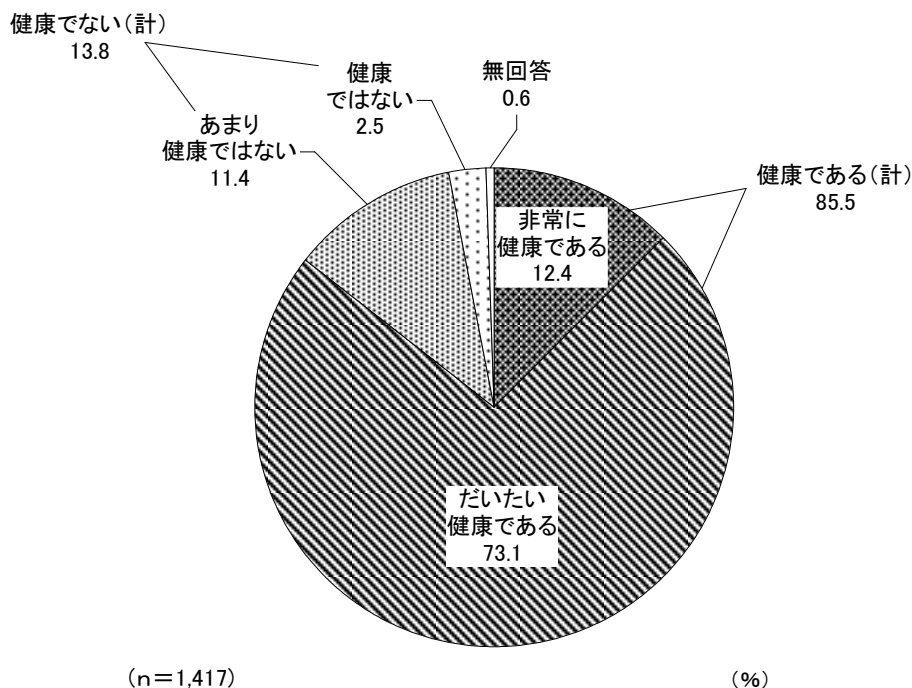
- ◆ かかりつけの歯科医を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的に受診している」(49.6%)が5割で最も高く、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(24.1%)を合わせた『決めている（計）』(73.7%)は7割を超えています。一方、「特に決めてはいない」(22.8%)は2割を超え、「必要がない」(2.0%)はわずかとなっています。



健康状態

『健康である（計）』が8割半ば

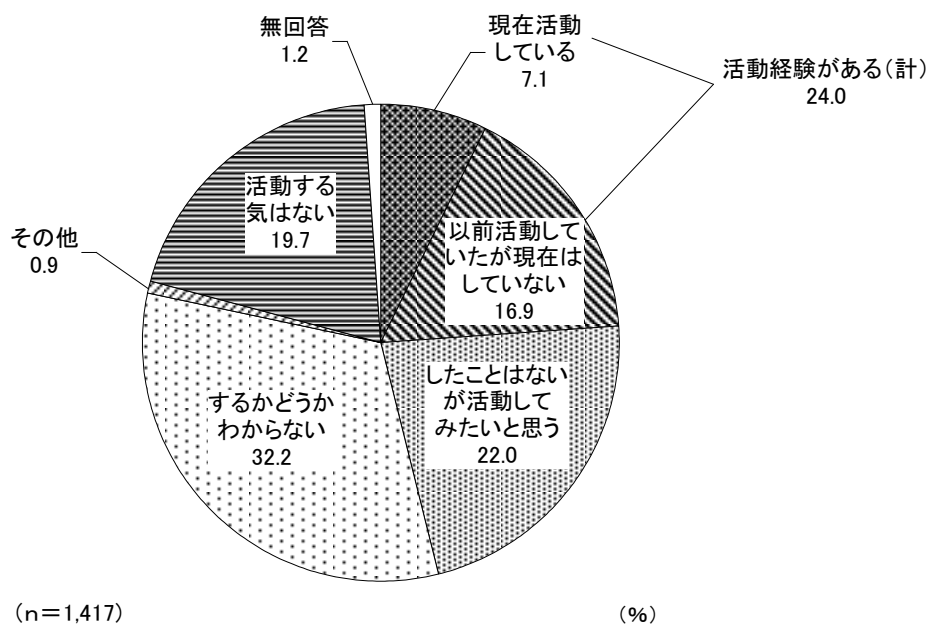
- ◆ 健康状態について聞いたところ、「だいたい健康である」（73.1%）が7割を超え、これに「非常に健康である」（12.4%）を合わせた『健康である（計）』（85.5%）は8割半ばとなっています。一方、「あまり健康ではない」（11.4%）と「健康ではない」（2.5%）を合わせた『健康でない（計）』（13.8%）は1割を超えています。



ボランティア活動経験

『活動経験がある（計）』が2割半ば

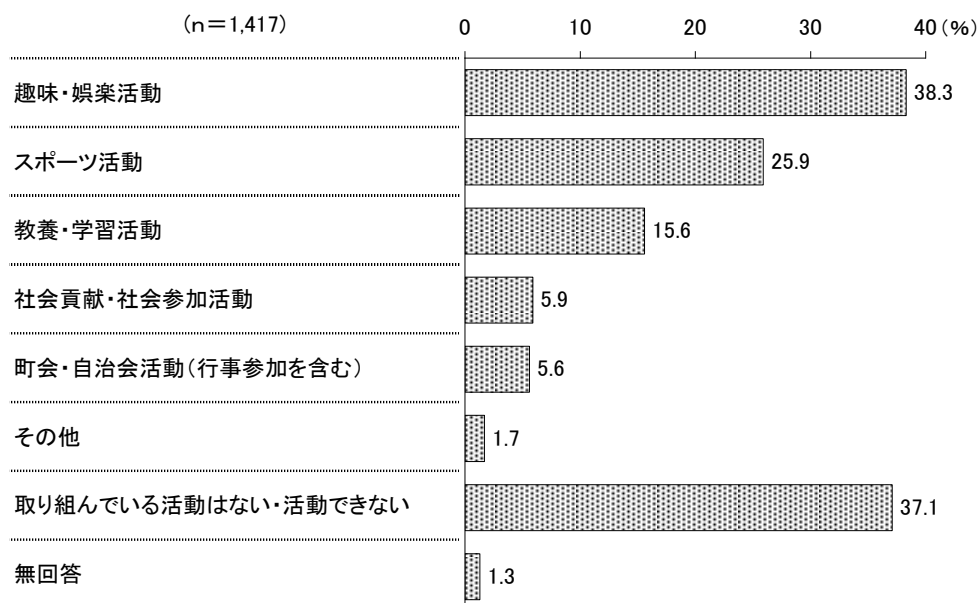
- ◆ ボランティア活動をした経験があるか聞いたところ、「現在活動している」（7.1%）と「以前活動していたが現在はしていない」（16.9%）を合わせた『活動経験がある（計）』（24.0%）は2割半ばとなっています。「したことはないが活動してみたいと思う」（22.0%）は2割を超え、「するかどうか分からない」（32.2%）は3割を超え、「活動する気はない」（19.7%）は2割を超えています。



社会参加活動状況

「趣味・娯楽活動」が4割近く

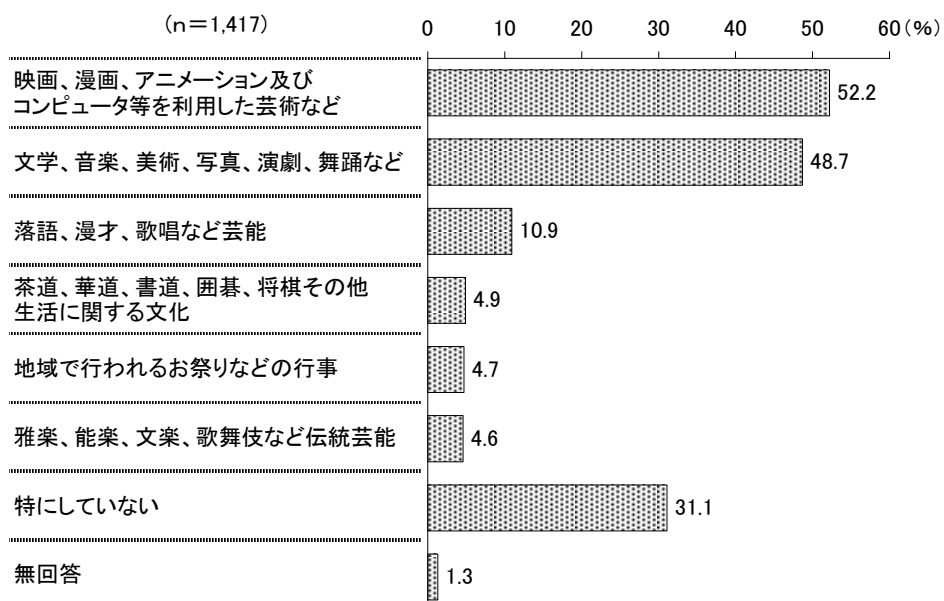
- ◆ 取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動について聞いたところ、「趣味・娯楽活動」(38.3%)が4割近くで最も高く、次いで「スポーツ活動」(25.9%)、「教養・学習活動」(15.6%)、「社会貢献・社会参加活動」(5.9%)、「町会・自治会活動(行事参加を含む)」(5.6%)の順になっています。一方、「取り組んでいる活動はない・活動できない」(37.1%)は4割近くとなっています。



文化・芸術鑑賞の有無

「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」が5割を超える

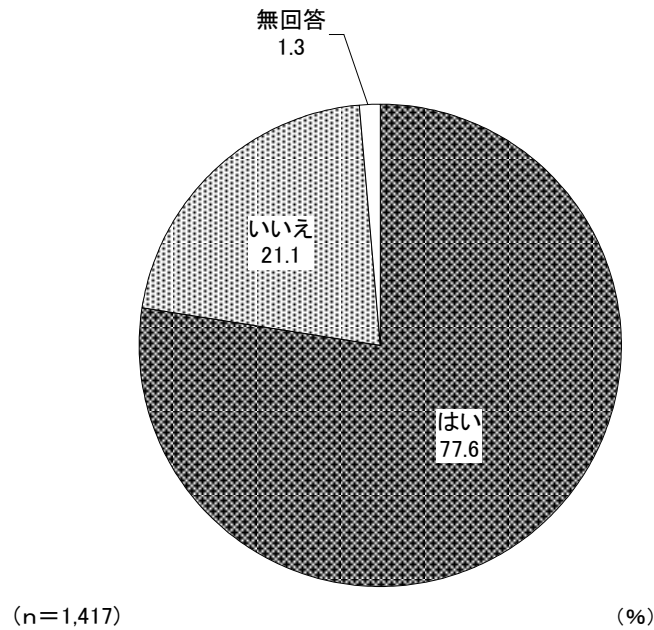
- ◆ 文化・芸術鑑賞の有無について聞いたところ、「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」(52.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」(48.7%)、「落語、漫才、歌唱など芸能」(10.9%)などの順になっています。一方、「特にしていない」(31.1%)は3割を超えています。



生きがいの有無

「はい」(感じている)が8割近く

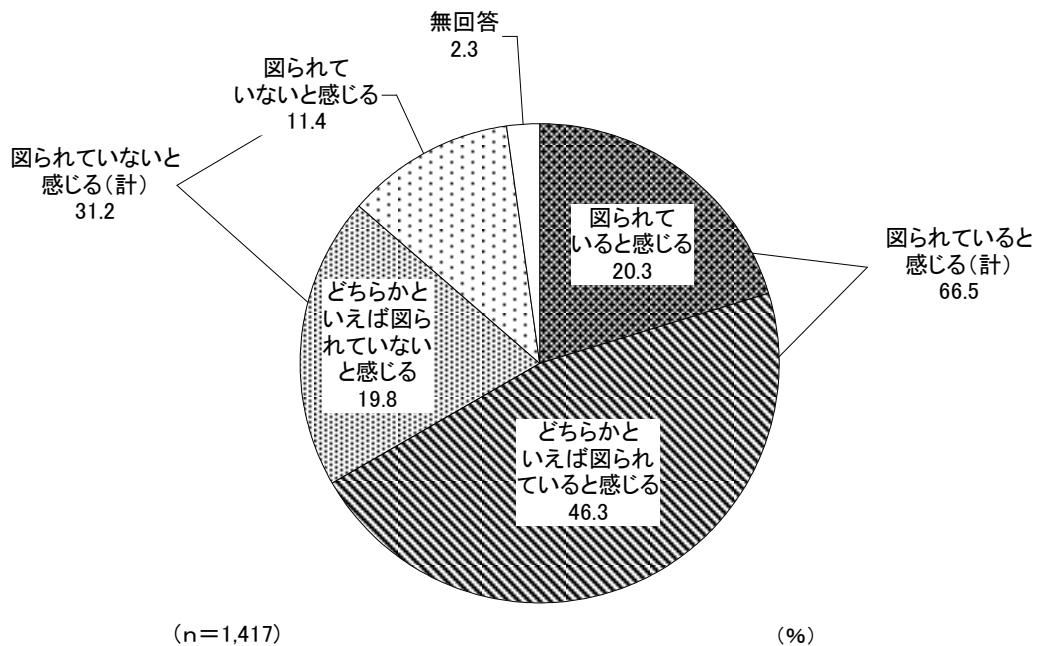
- ◆ 生きがいを感じているか聞いたところ、「はい」(77.6%)が8割近く、「いいえ」(21.1%)は2割を超えています。



仕事と生活の調和に対する意識

調和が『図られていると感じる(計)』が7割近く

- ◆ 仕事と生活の調和が図られていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば図られていると感じる」(46.3%)が4割半ばで、これに「図られていると感じる」(20.3%)を合わせた『図られていると感じる(計)』(66.5%)は7割近くとなっています。一方、「どちらかといえば図られていないと感じる」(19.8%)と「図られていないと感じる」(11.4%)を合わせた『図られていないと感じる(計)』(31.2%)は3割を超えています。

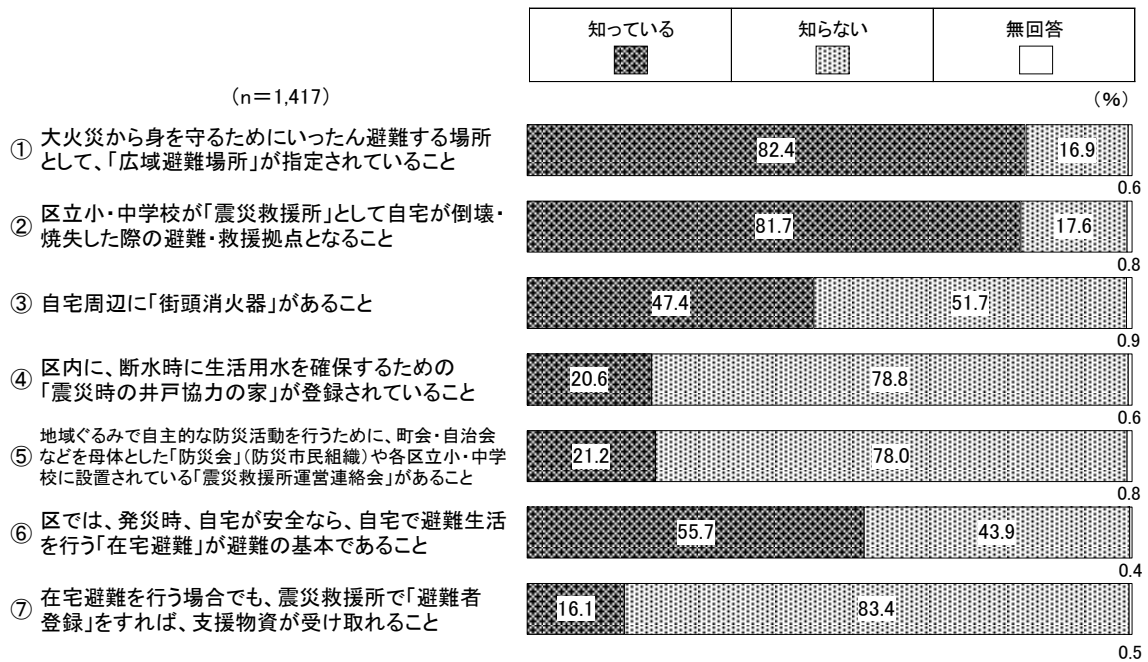


3. 地域防災について

震災対策に関する周知度

【広域避難場所】と【震災救援所】を「知っている」人が8割を超える

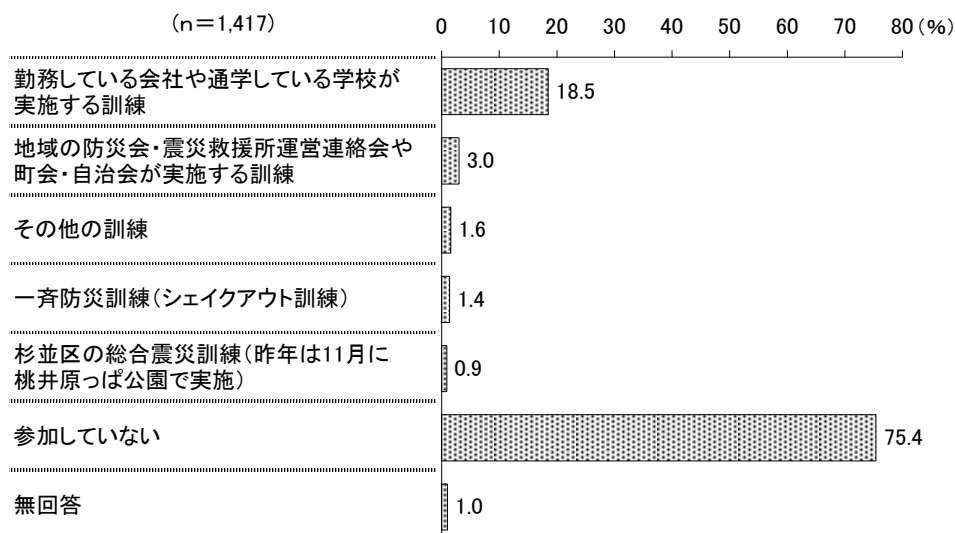
- ◆ 震災対策に関して知っている内容を聞いたところ、「知っている」は【広域避難場所】(82.4%)と【震災救援所】(81.7%)で8割を超えて高い割合を占めていますが、【街頭消火器】(47.4%)、【防災会(防災市民組織)・震災救援所運営連絡会】(21.2%)、【震災時の井戸協力の家】(20.6%)、【避難者登録】(16.1%)の4項目で過半数を下回っています。



防災訓練の参加状況

「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」が2割近く

- ◆ この1年の間に参加した防災訓練は何か聞いたところ、「勤務している会社や通学している学校が実施する訓練」(18.5%)が2割近くで最も高く、次いで「地域の防災会・震災救援所運営連絡会や町会・自治会が実施する訓練」(3.0%)などの順になっています。一方、「参加していない」(75.4%)は7割半ばとなっており、何らかの訓練に参加した人は約4人に1人となっています。

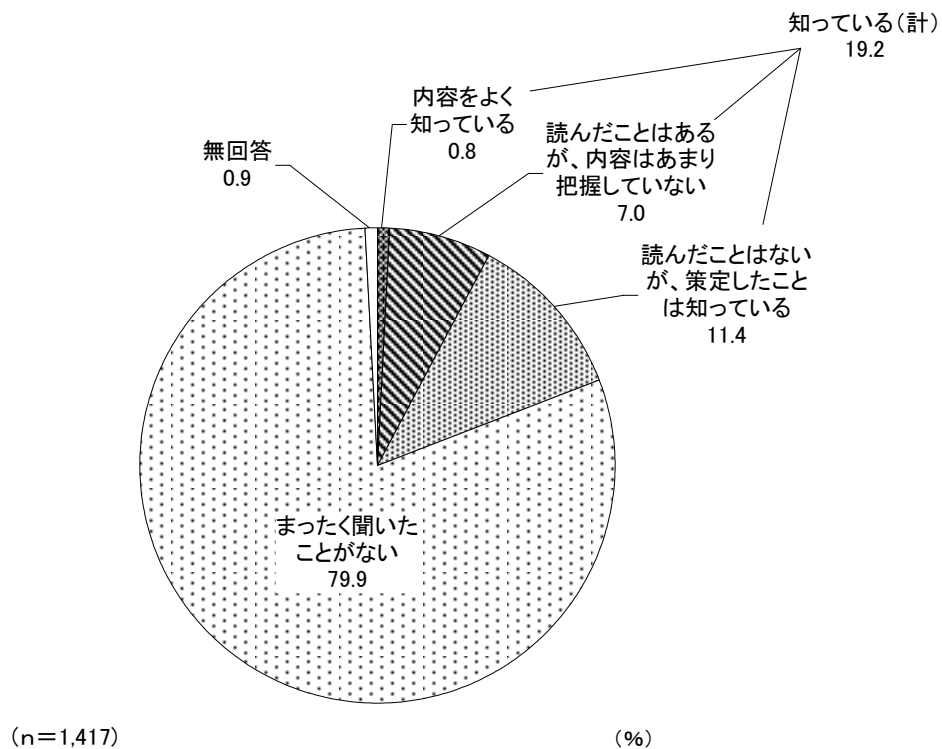


4. 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について

「杉並区基本構想（10年ビジョン）」の認知度

『知っている（計）』人がほぼ2割

- ◆ 「杉並区基本構想（10年ビジョン）」について知っているか聞いたところ、「まったく聞いたことがない」（79.9%）が8割となっています。「内容をよく知っている」（0.8%）、「読んだことはあるが、内容はあまり把握していない」（7.0%）、「読んだことはないが、策定したことは知っている」（11.4%）を合わせた『知っている（計）』（19.2%）はほぼ2割となっています。

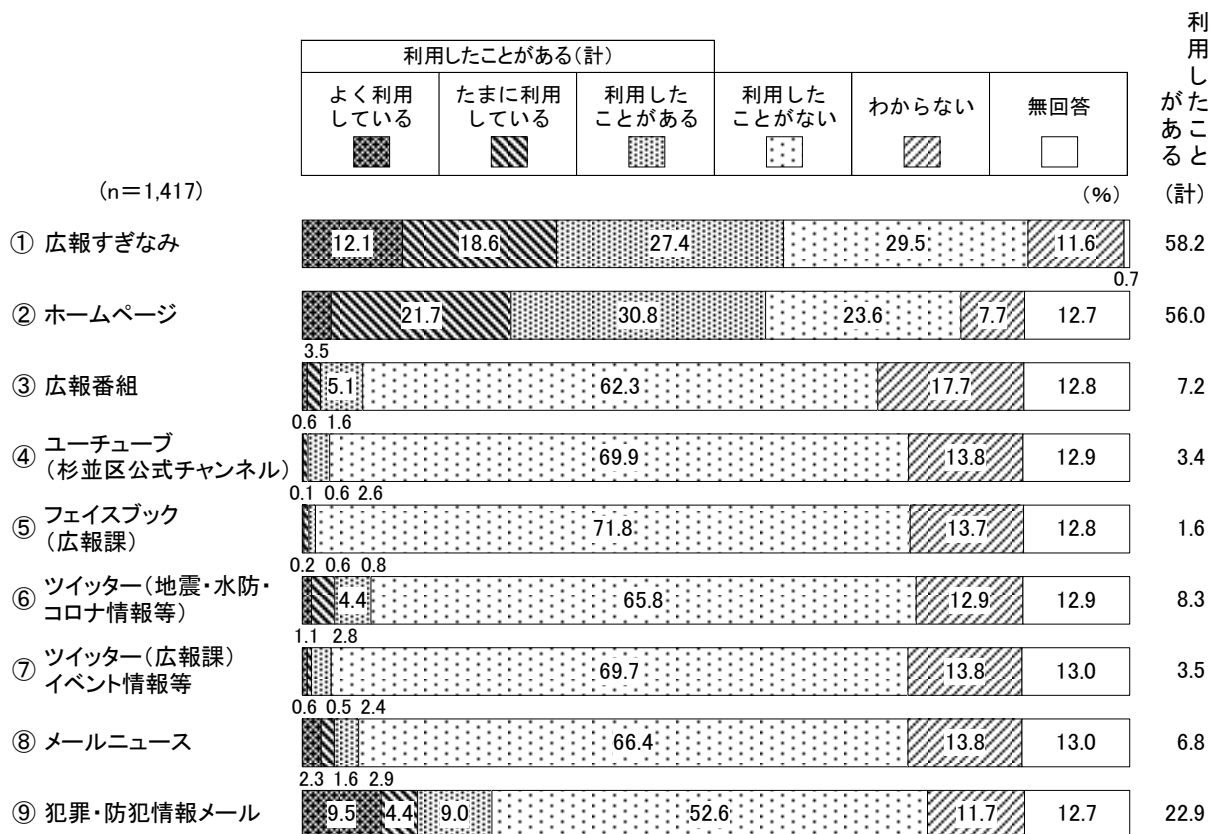


5. 区の情報について

区の広報媒体等の利用状況

【広報すぎなみ】を『利用したことがある（計）』人が6割近く

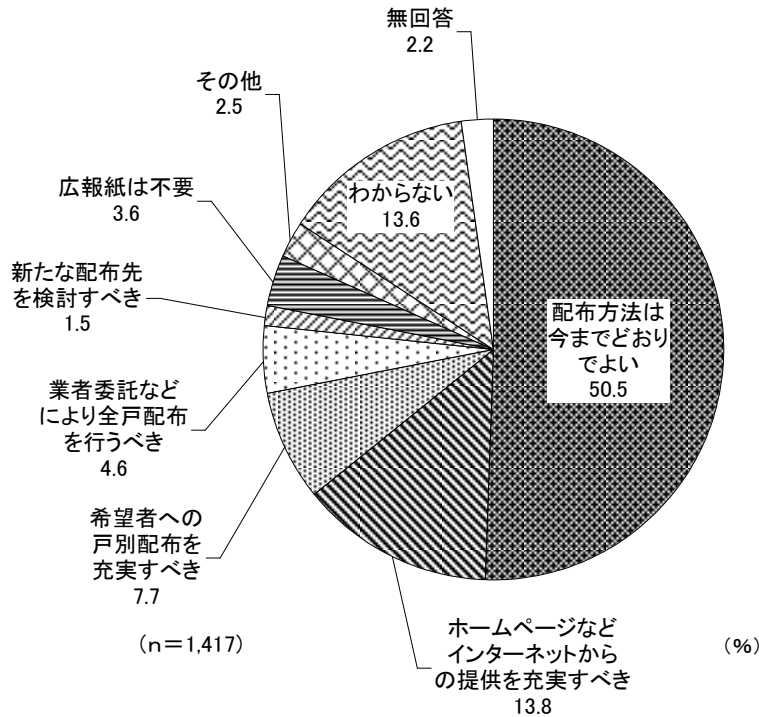
- ◆ 区の広報媒体等の利用状況について聞いたところ、「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用したことがある（計）』は、【広報すぎなみ】（58.2%）が6割近くで最も高く、次いで【ホームページ】（56.0%）、【犯罪・防犯情報メール】（22.9%）、【ツイッター（地震・水防・コロナ情報等）】（8.3%）などの順になっています。



「広報すぎなみ」の配布方法

「配布方法は今までどおりでよい」がほぼ5割

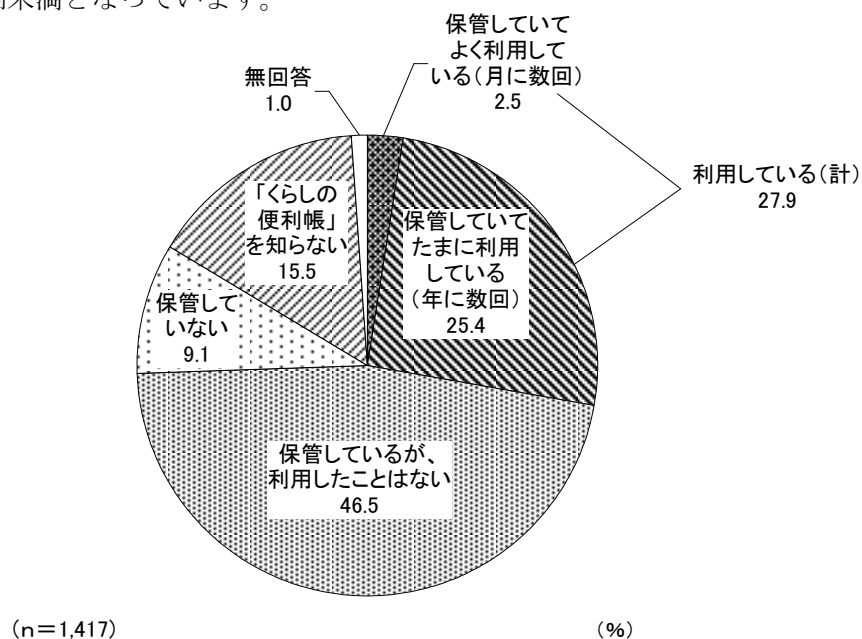
- ◆ 「広報すぎなみ」の配布方法について聞いたところ、「配布方法は今までどおりでよい」(50.5%)がほぼ5割で突出しています。次いで「ホームページなどインターネットからの提供を充実すべき」(13.8%)、「希望者への戸別配布を充実すべき」(7.7%)、「業者委託などにより全戸配布を行うべき」(4.6%)などの順になっています。



「くらしの便利帳」の保管・活用状況

『利用している(計)』が3割近く

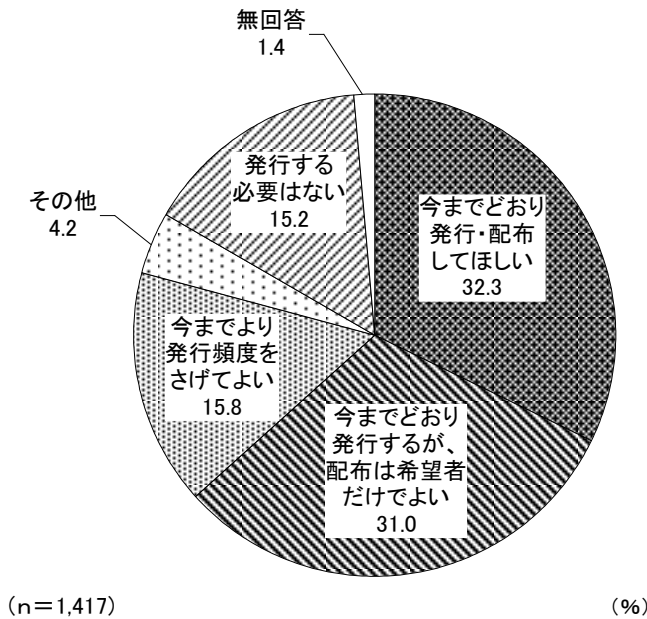
- ◆ 「くらしの便利帳」の保管・活用状況について聞いたところ、「保管していてよく利用している(月に数回)」(2.5%)と「保管していてたまに利用している(年に数回)」(25.4%)を合わせた『利用している(計)』(27.9%)は3割近くとなっています。一方、「保管しているが、利用したことはない」(46.5%)は5割近く、「くらしの便利帳」を知らない(15.5%)は1割半ば、「保管していない」(9.1%)は1割未満となっています。



区の費用負担が発生した場合の「くらしの便利帳」の発行・配布

「今までどおり発行・配布してほしい」と「今までどおり発行するが、配布は希望者だけでよい」がともに3割を超える

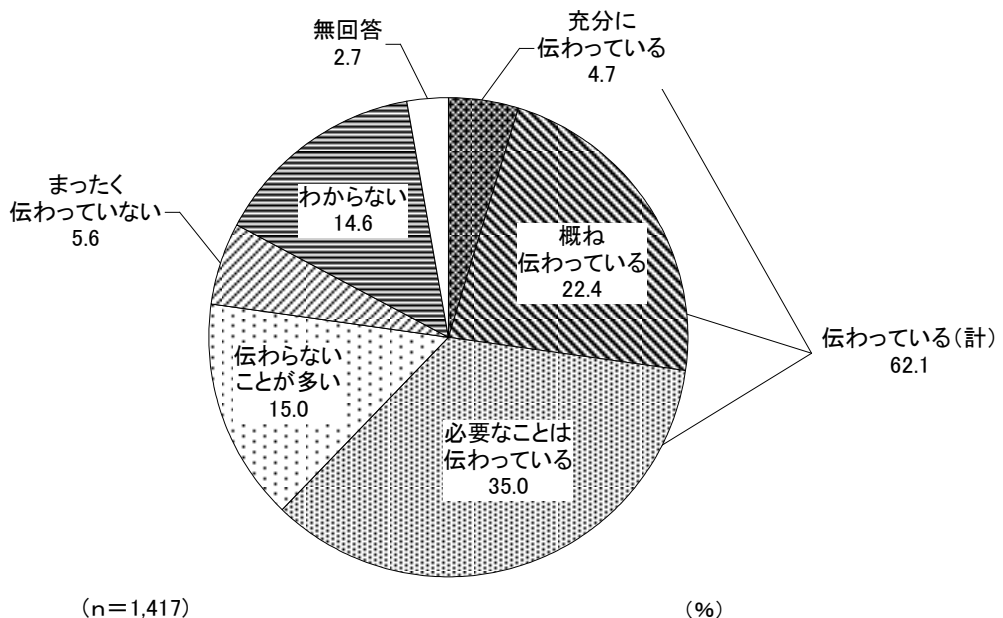
- ◆ 区の費用負担が発生した場合の「くらしの便利帳」の発行・配布について聞いたところ、「今までどおり発行・配布してほしい」(32.3%)と「今までどおり発行するが、配布は希望者だけでよい」(31.0%)がともに3割を超えて高く、次いで「今までより発行頻度をさげてよい」(15.8%)、「発行する必要はない」(15.2%)の順になっています。



区の情報の伝達度

『伝わっている(計)』が6割を超える

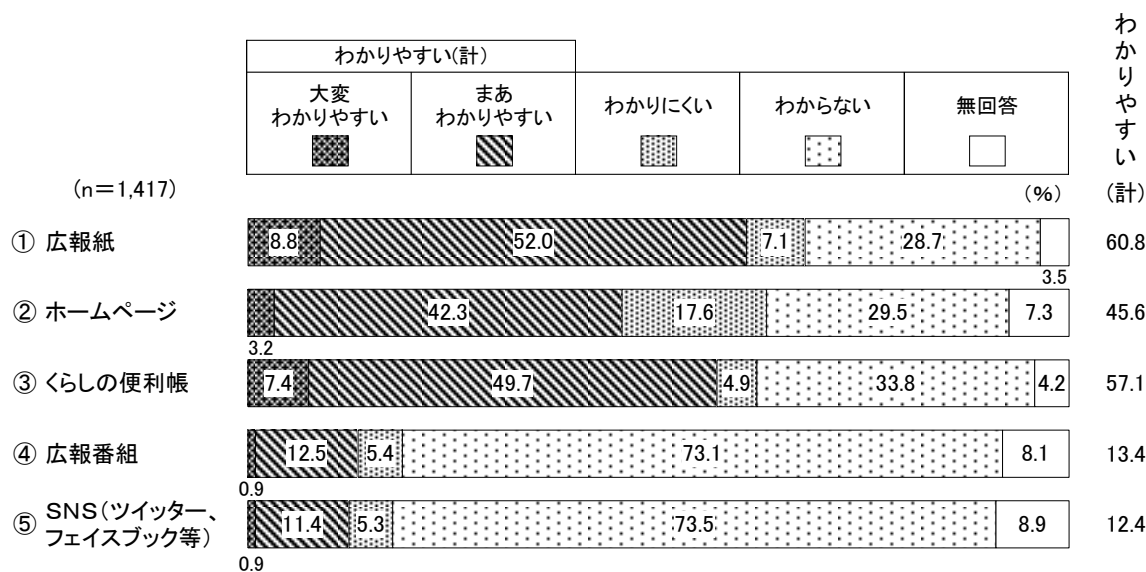
- ◆ 必要とする区の情報が伝わっているか聞いたところ、「十分に伝わっている」(4.7%)、「概ね伝わっている」(22.4%)、「必要なことは伝わっている」(35.0%)を合わせた『伝わっている(計)』(62.1%)は6割を超えています。一方、「伝わらないことが多い」(15.0%)が1割半ば、「まったく伝わっていない」(5.6%)は1割未満となっています。



区が発信する情報のわかりやすさ

【広報紙】は『わかりやすい（計）』がほぼ6割

- ◆ 区が発信する情報のわかりやすさについて聞いたところ、「大変わかりやすい」と「まあわかりやすい」を合わせた『わかりやすい（計）』は、【広報紙】（60.8%）がほぼ6割で最も高く、次いで【くらしの便利帳】（57.1%）、【ホームページ】（45.6%）、【広報番組】（13.4%）、【SNS（ツイッター、フェイスブック等）】（12.4%）の順になっています。

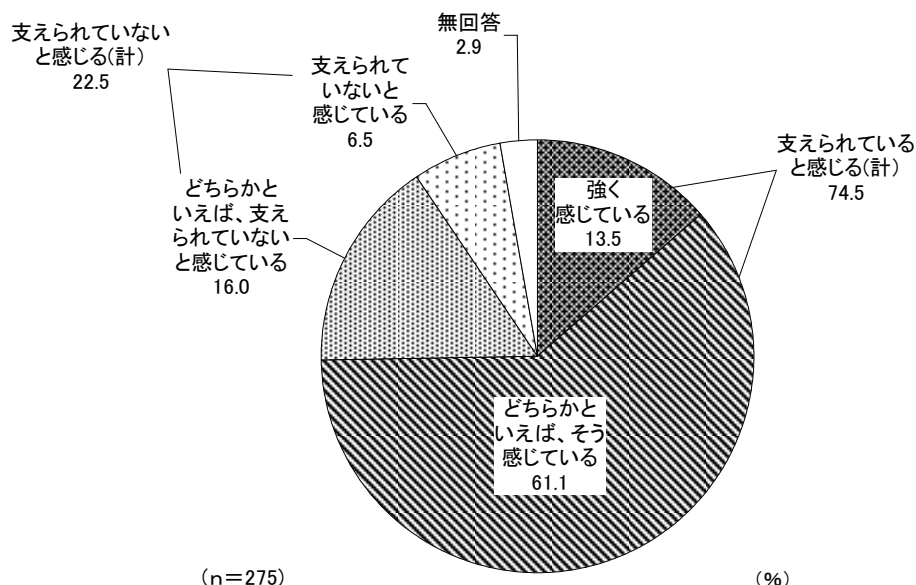


6. 子育て支援に関する意向について

地域の子育て支援についての意識

地域や社会に『支えられていると感じる（計）』が7割半ば

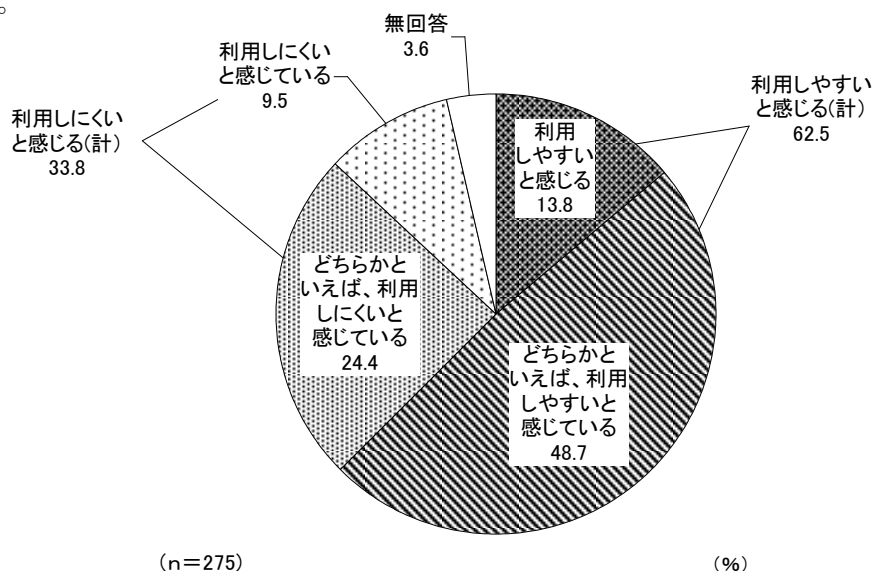
- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（275人）に、子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、そう感じている」（61.1%）が6割を超え、これに「強く感じている」（13.5%）を合わせた『支えられていると感じる（計）』（74.5%）は7割半ばとなっています。一方、「どちらかといえば、支えられていないと感じている」（16.0%）と「支えられていないと感じている」（6.5%）を合わせた『支えられていないと感じる（計）』（22.5%）は2割を超えています。



地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ

『利用しやすいと感じる（計）』が6割を超える

- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（275人）に、地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、利用しやすいと感じている」（48.7%）が5割近くで、これに「利用しやすいと感じる」（13.8%）を合わせた『利用しやすいと感じる（計）』（62.5%）は6割を超えています。一方、「どちらかといえば、利用しにくいと感じている」（24.4%）と「利用しにくいと感じている」（9.5%）を合わせた『利用しにくいと感じる（計）』（33.8%）は3割を超えています。

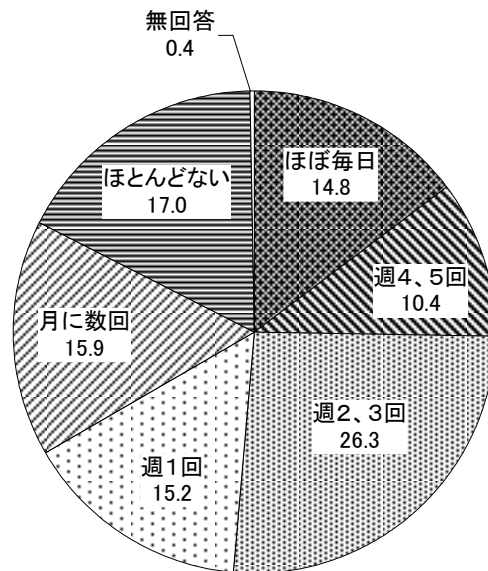


7. 商店街について

商店街の利用頻度

「週2、3回」が2割半ば

- ◆ 商店街の利用頻度について聞いたところ、「週2、3回」(26.3%)が2割半ばで最も高く、次いで「月に数回」(15.9%)、「週1回」(15.2%)、「ほぼ毎日」(14.8%)、「週4、5回」(10.4%)の順になっています。また、「ほとんどない」(17.0%)は2割近くとなっています。



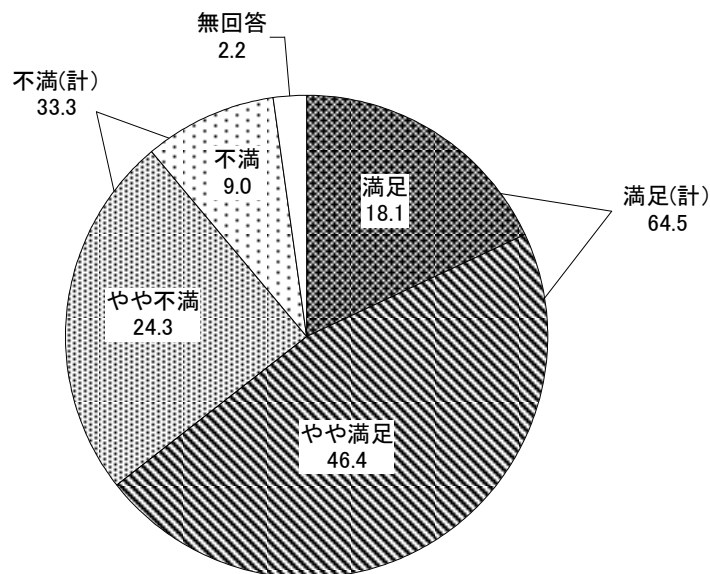
(n=1,417)

(%)

商店街の満足度

『満足(計)』が6割半ば

- ◆ 商店街の満足度について聞いたところ、「やや満足」(46.4%)が4割半ばで、これに「満足」(18.1%)を合わせた『満足(計)』(64.5%)は6割半ばとなっています。一方、「やや不満」(24.3%)と「不満」(9.0%)を合わせた『不満(計)』(33.3%)は3割を超えています。



(n=1,417)

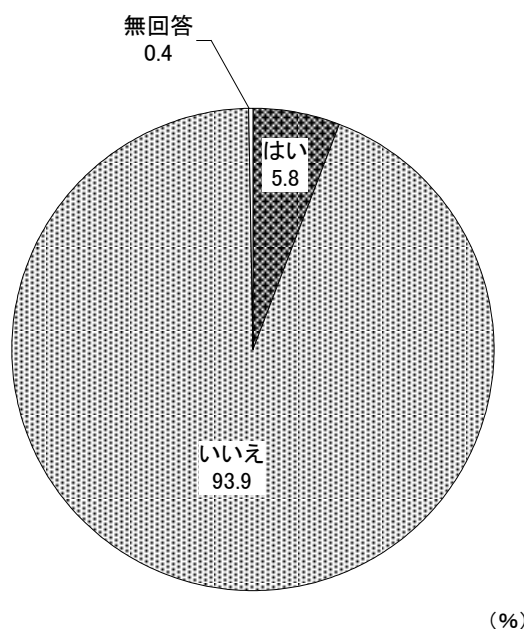
(%)

8. 高齢者在宅支援について

現在の介護状況

「いいえ」(介護をしていない)が9割を超える

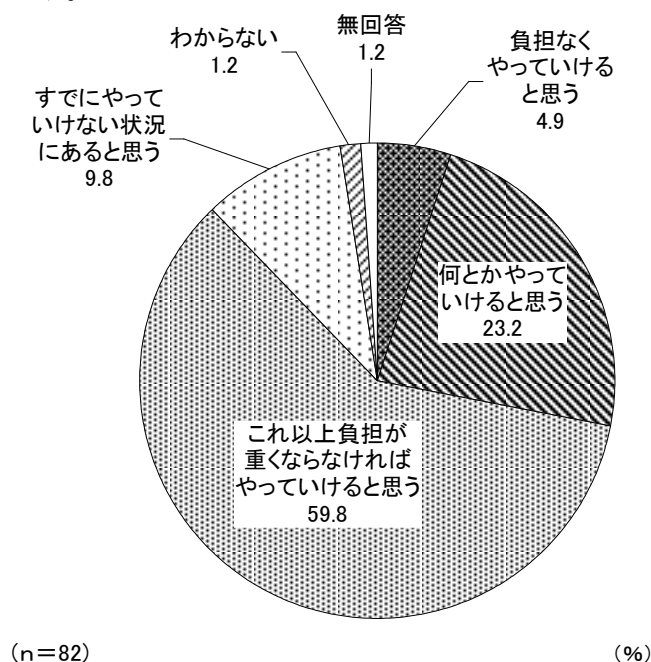
- ◆ 現在、介護をしているか聞いたところ、「いいえ」(93.9%)が9割を超え、「はい」(5.8%)は1割未満となっています。



今後の在宅介護の見通し

「これ以上負担が重くならないかやっと思う」が6割

- ◆ 現在の介護状況で「介護をしている」と答えた人(82人)に、今後の在宅介護の見通しを聞いたところ、「これ以上負担が重くならないかやっと思う」(59.8%)が6割で最も高く、次いで「何とかやっと思う」(23.2%)、「すでにやっと思う」(9.8%)などの順になっています。



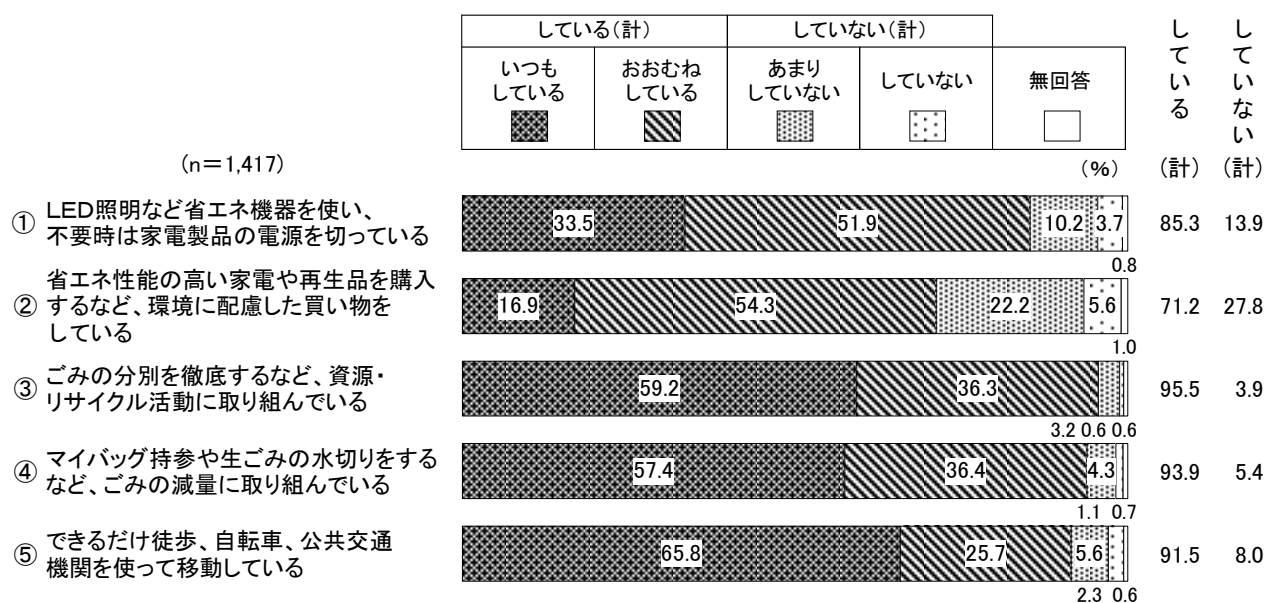
9. 環境に配慮した行動について

環境に配慮した行動への取り組み

【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】を『している』人が9割半ば

- ◆ 環境に配慮した行動への取り組みについて聞いたところ、「いつもしている」と「おおむねしている」を合わせた『している（計）』と答えた人は、【ごみの分別を徹底するなど、資源・リサイクル活動に取り組んでいる】（95.5%）で9割半ば、【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】（93.9%）と【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】（91.5%）で9割を超え、【LED照明など省エネ機器を使い、不要時は家電製品の電源を切っている】（85.3%）で8割半ばとなっています。

一方、「あまりしていない」と「していない」を合わせた『していない（計）』と答えた人は、【省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買い物をしている】（27.8%）で3割近くとなっています。

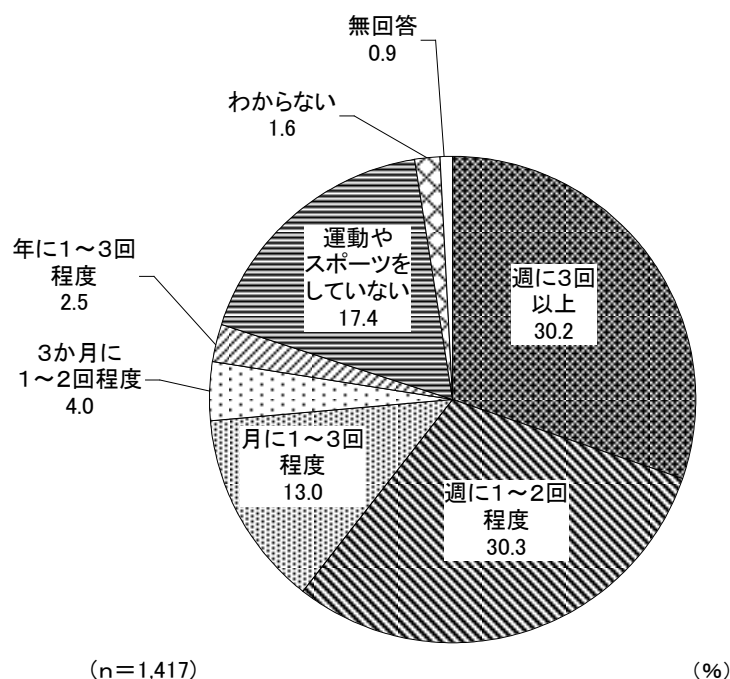


10. 運動・スポーツについて

この1年間の運動やスポーツの実施状況

「週に1～2回程度」と「週に3回以上」がともに3割

- ◆ この1年間の運動やスポーツの実施状況について聞いたところ、「週に1～2回程度」(30.3%)と「週に3回以上」(30.2%)がともに3割で高く、次いで「月に1～3回程度」(13.0%)、「3か月に1～2回程度」(4.0%)、「年に1～3回程度」(2.5%)の順になっています。一方、「運動やスポーツをしていない」(17.4%)は2割近くとなっています。

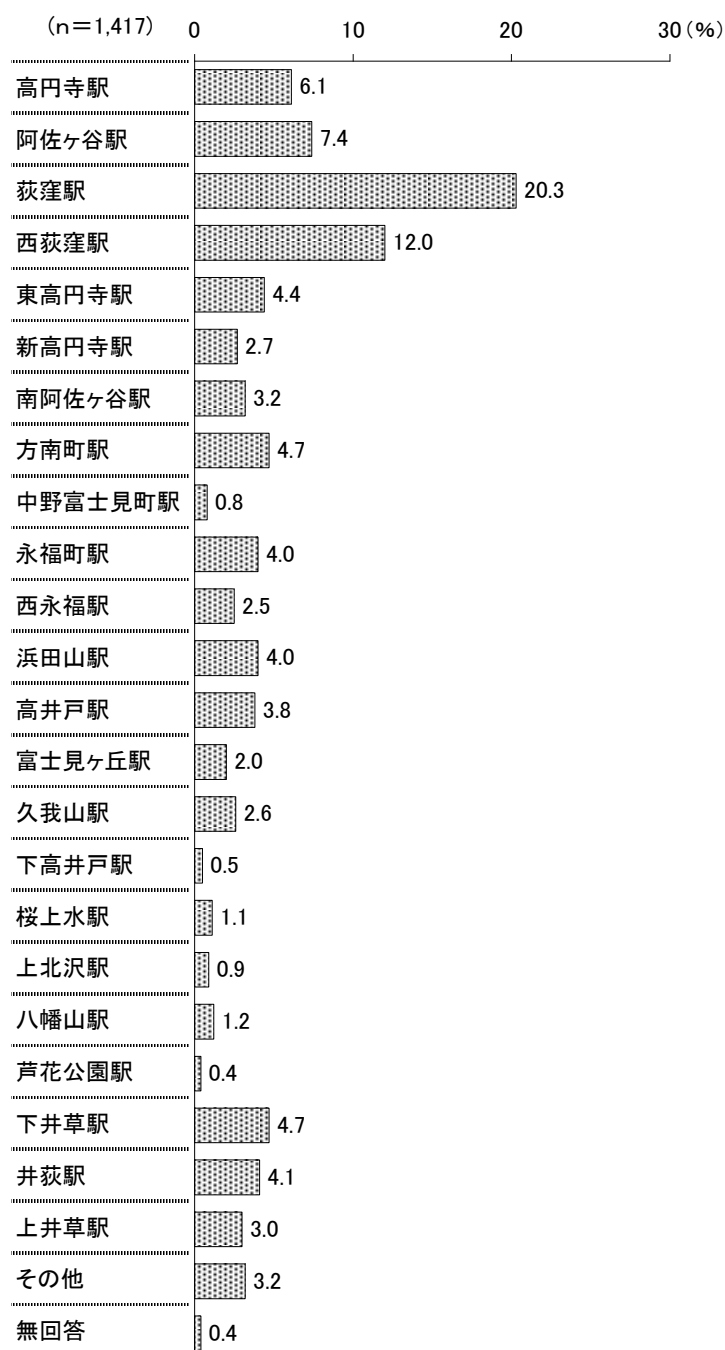


11. 駅周辺の満足度について

普段利用する駅

「荻窪駅」が2割

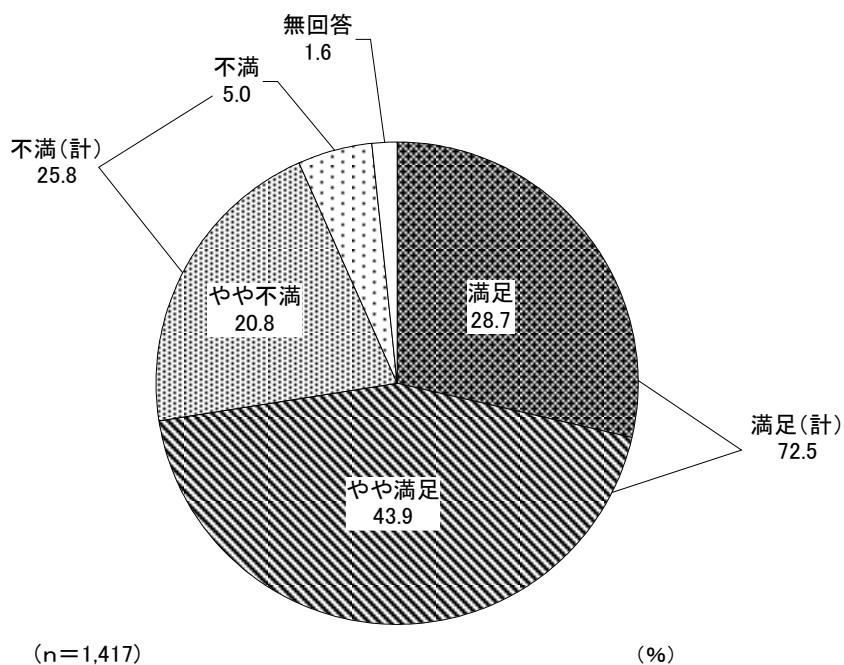
- ◆ 普段利用する駅を聞いたところ、「荻窪駅」(20.3%)が2割で最も高く、次いで「西荻窪駅」(12.0%)、「阿佐ヶ谷駅」(7.4%)、「高円寺駅」(6.1%)などの順になっています。



普段利用する駅周辺の満足度

『満足（計）』が7割を超える

- ◆ 普段利用する駅周辺の満足度について聞いたところ、「やや満足」（43.9%）が4割を超え、これに「満足」（28.7%）を合わせた『満足（計）』（72.5%）は7割を超えています。一方、「やや不満」（20.8%）と「不満」（5.0%）を合わせた『不満（計）』（25.8%）は2割半ばとなっています。

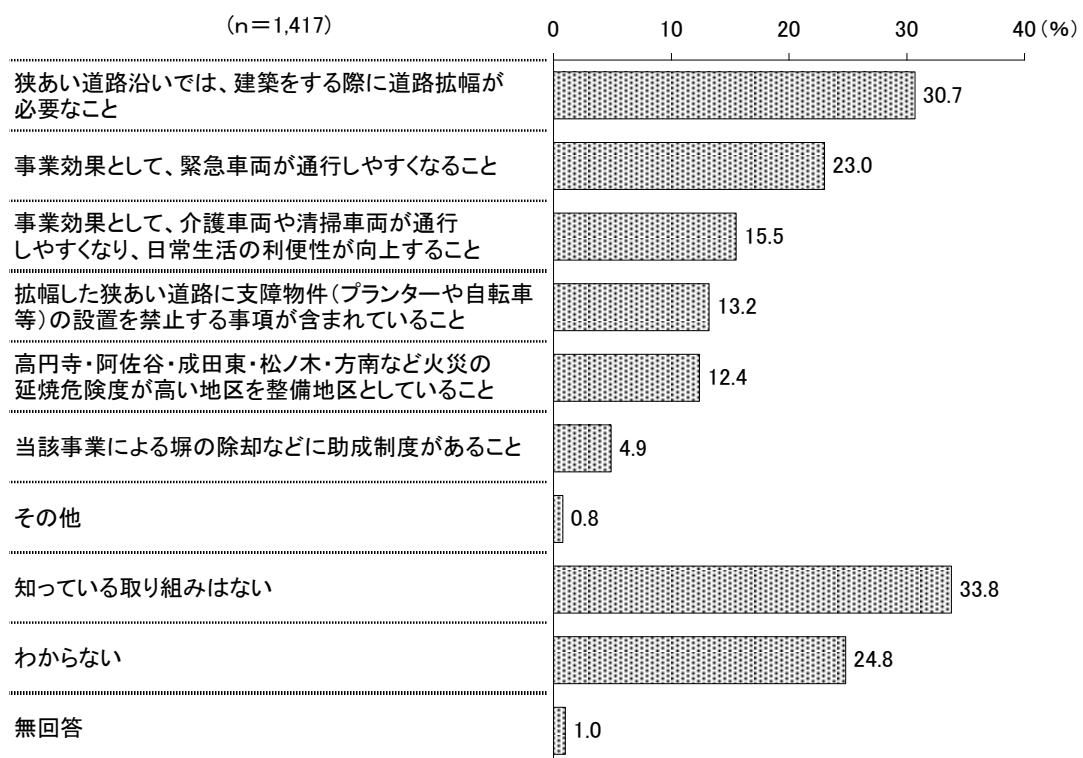


12. 狭あい道路拡幅整備について

「狭あい道路拡幅整備事業」に関する取り組みの認知度

「狭あい道路沿いでは、建築をする際に道路拡幅が必要なこと」がほぼ3割

- ◆ 「狭あい道路拡幅整備事業」に関する取り組みを知っているか聞いたところ、「狭あい道路沿いでは、建築をする際に道路拡幅が必要なこと」(30.7%)がほぼ3割で最も高く、次いで「事業効果として、緊急車両が通行しやすくなること」(23.0%)、「事業効果として、介護車両や清掃車両が通行しやすくなり、日常生活の利便性が向上すること」(15.5%)、「拡幅した狭あい道路に支障物件(プランターや自転車等)の設置を禁止する事項が含まれていること」(13.2%)などの順になっています。一方、「知っている取り組みはない」(33.8%)は3割を超えています。

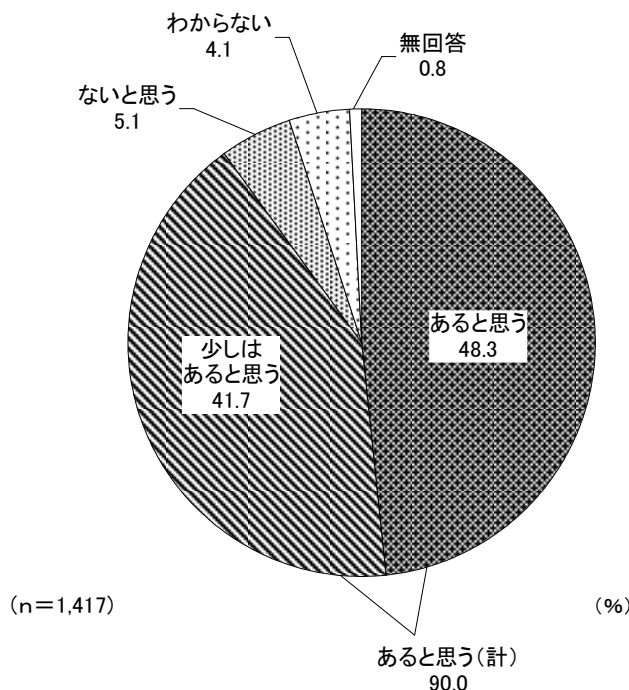


13. 障害を理由とする差別や偏見について

障害を理由とする差別や偏見の有無

『あると思う（計）』が9割

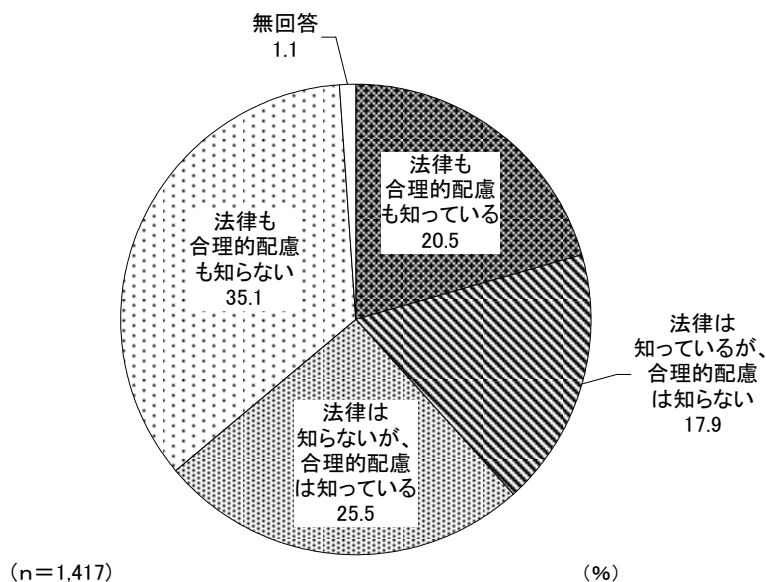
- ◆ 障害がある人に対する障害を理由とする差別や偏見があると思うか聞いたところ、「あると思う」（48.3%）と「少しはあると思う」（41.7%）を合わせた『あると思う（計）』（90.0%）は9割となっています。一方、「ないと思う」（5.1%）は1割未満となっています。



「障害者差別解消法」や合理的配慮の認知度

「法律も合理的配慮も知らない」が3割半ば

- ◆ 「障害者差別解消法」や合理的配慮について知っているか聞いたところ、「法律も合理的配慮も知っている」（20.5%）はほぼ2割、「法律は知っているが、合理的配慮は知らない」（17.9%）は2割近く、「法律は知らないが、合理的配慮は知っている」（25.5%）は2割半ばとなっています。また、「法律も合理的配慮も知らない」（35.1%）が3割半ばとなっています。

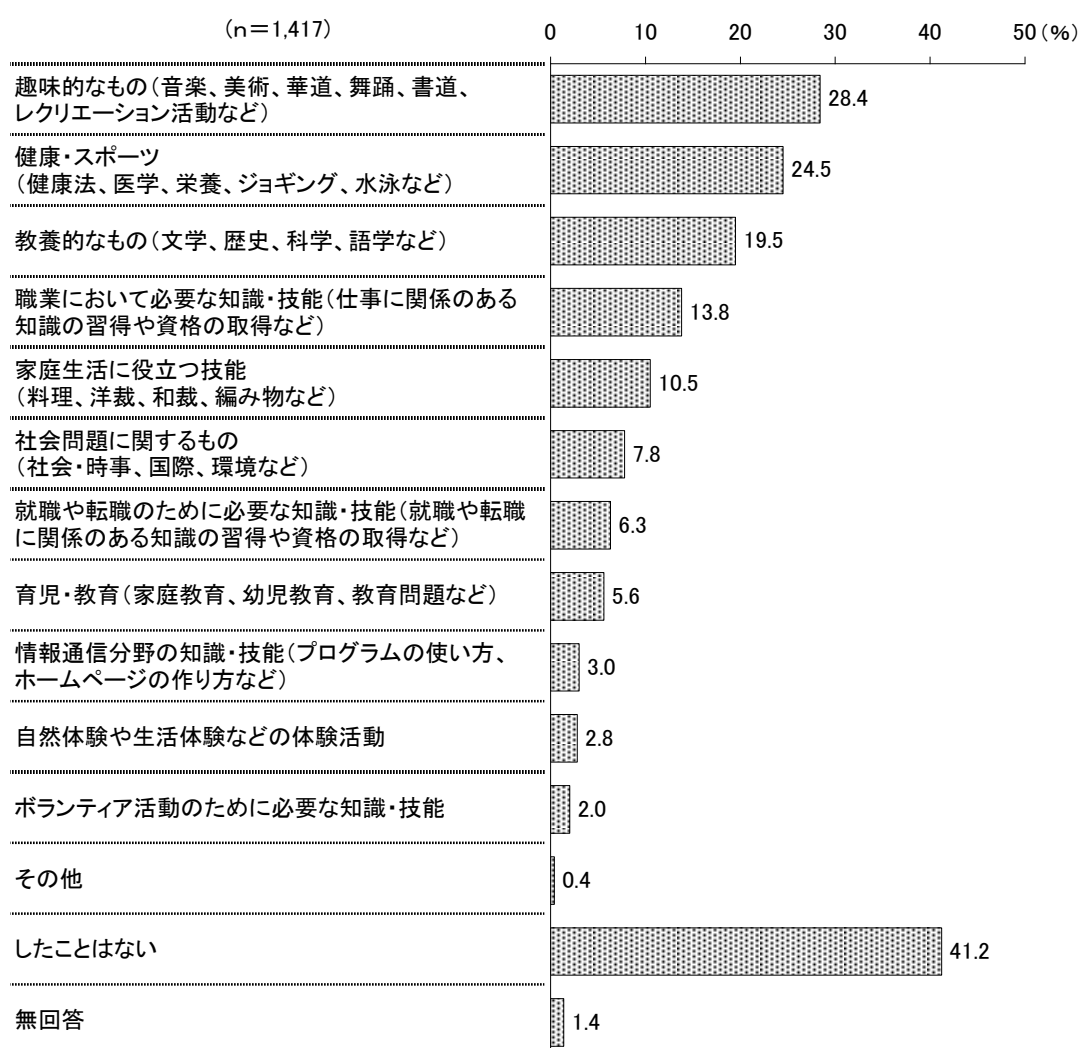


14. 生涯学習について

この1年間の生涯学習の実施状況

「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」が3割近く

- ◆ この1年間の生涯学習の実施状況について聞いたところ、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」（28.4%）が3割近くで最も高く、次いで「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」（24.5%）、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）」（19.5%）などの順になっています。一方、「したことはない」（41.2%）は4割を超えています。

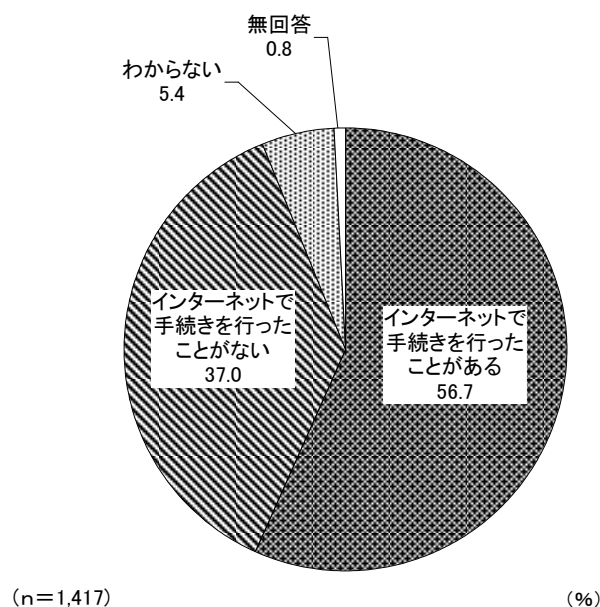


15. 区役所のデジタル化について

行政への申請手続きをインターネットで行った経験

「インターネットで手続きを行ったことがある」が6割近く

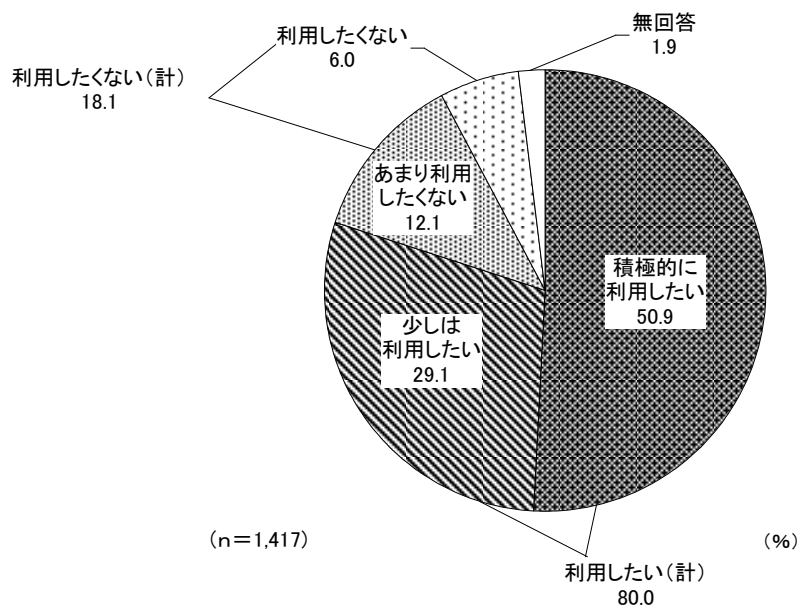
- ◆ 行政への申請手続きをインターネットで行ったことがあるか聞いたところ、「インターネットで手続きを行ったことがある」(56.7%)が6割近くとなっています。一方、「インターネットで手続きを行ったことがない」(37.0%)は4割近くとなっています。



各種手続きがインターネット上で可能となった場合の利用意向

『利用したい(計)』が8割

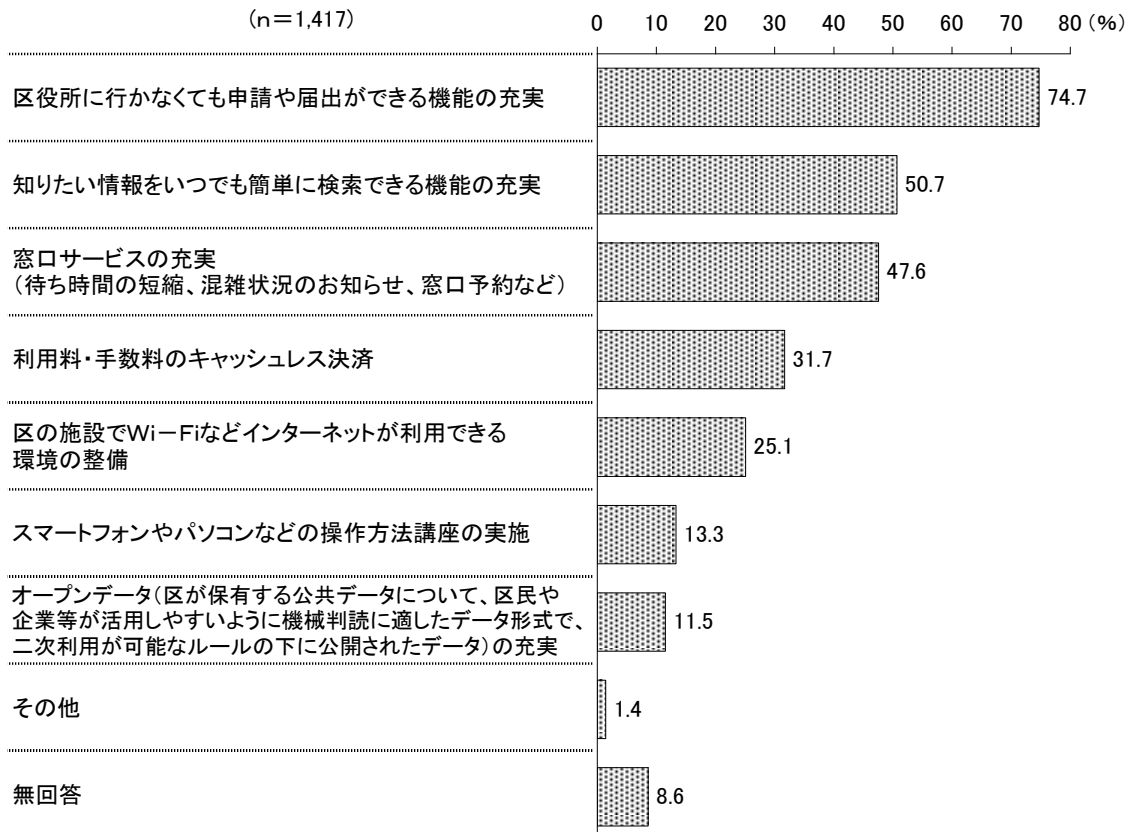
- ◆ 区への各種手続きがインターネット上で可能となった場合に利用したいか聞いたところ、「積極的に利用したい」(50.9%)がほぼ5割で、これに「少しは利用したい」(29.1%)を合わせた『利用したい(計)』(80.0%)は8割となっています。一方、「あまり利用したくない」(12.1%)と「利用したくない」(6.0%)を合わせた『利用したくない(計)』(18.1%)は2割近くとなっています。



区のデジタル化に期待するサービス

「区役所に行かなくても申請や届出ができる機能の充実」が7割半ば

- ◆ 区のデジタル化に期待するサービスを聞いたところ、「区役所に行かなくても申請や届出ができる機能の充実」(74.7%)が7割半ばで最も高く、次いで「知りたい情報をいつでも簡単に検索できる機能の充実」(50.7%)、「窓口サービスの充実(待ち時間の短縮、混雑状況のお知らせ、窓口予約など)」(47.6%)、「利用料・手数料のキャッシュレス決済」(31.7%)などの順になっています。

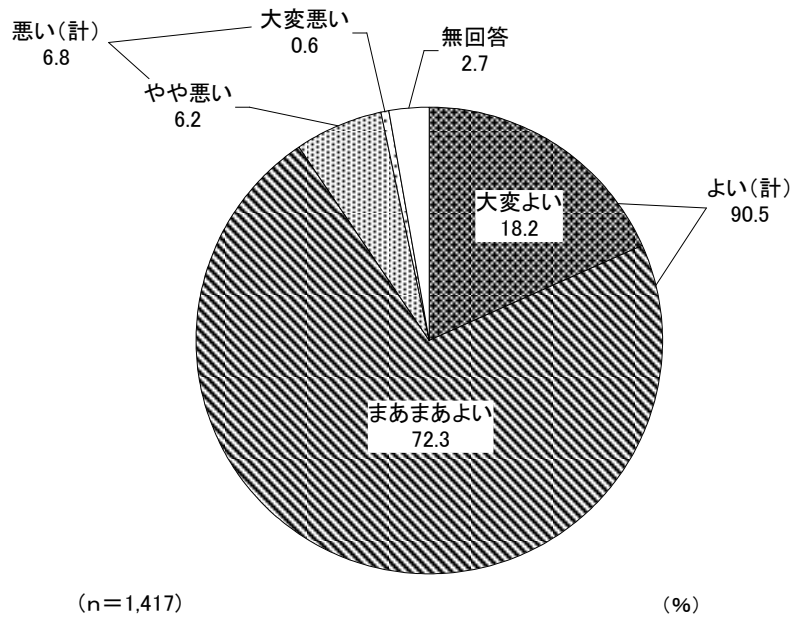


16. その他の区政について

区の職員の対応への印象

区役所の対応は『よい(計)』がほぼ9割

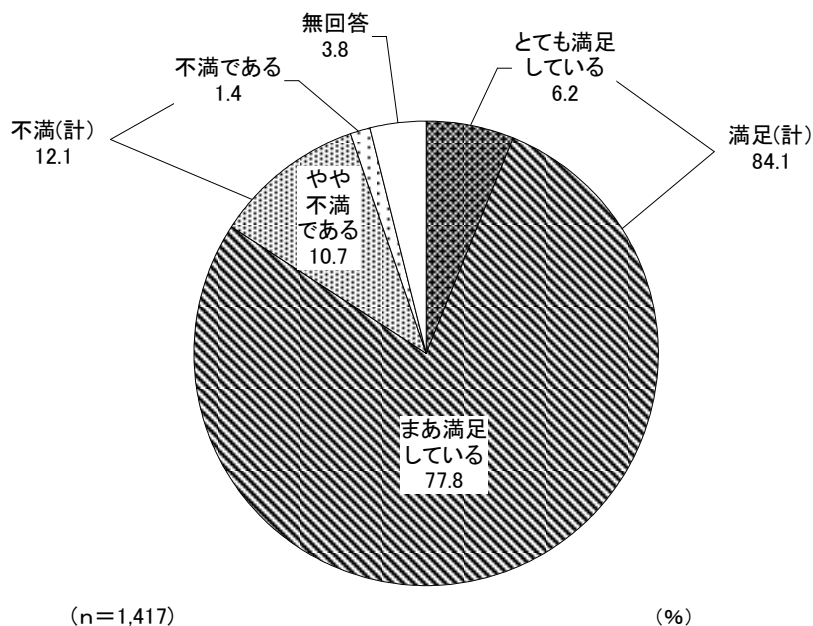
- ◆ 区の職員の対応への印象について聞いたところ、「まあまあよい」(72.3%)が7割を超え、これに「大変よい」(18.2%)を合わせた『よい(計)』(90.5%)はほぼ9割となっています。一方、「やや悪い」(6.2%)と「大変悪い」(0.6%)を合わせた『悪い(計)』(6.8%)は1割未満となっています。



区の事業やサービスの満足度

『満足(計)』が8割半ば

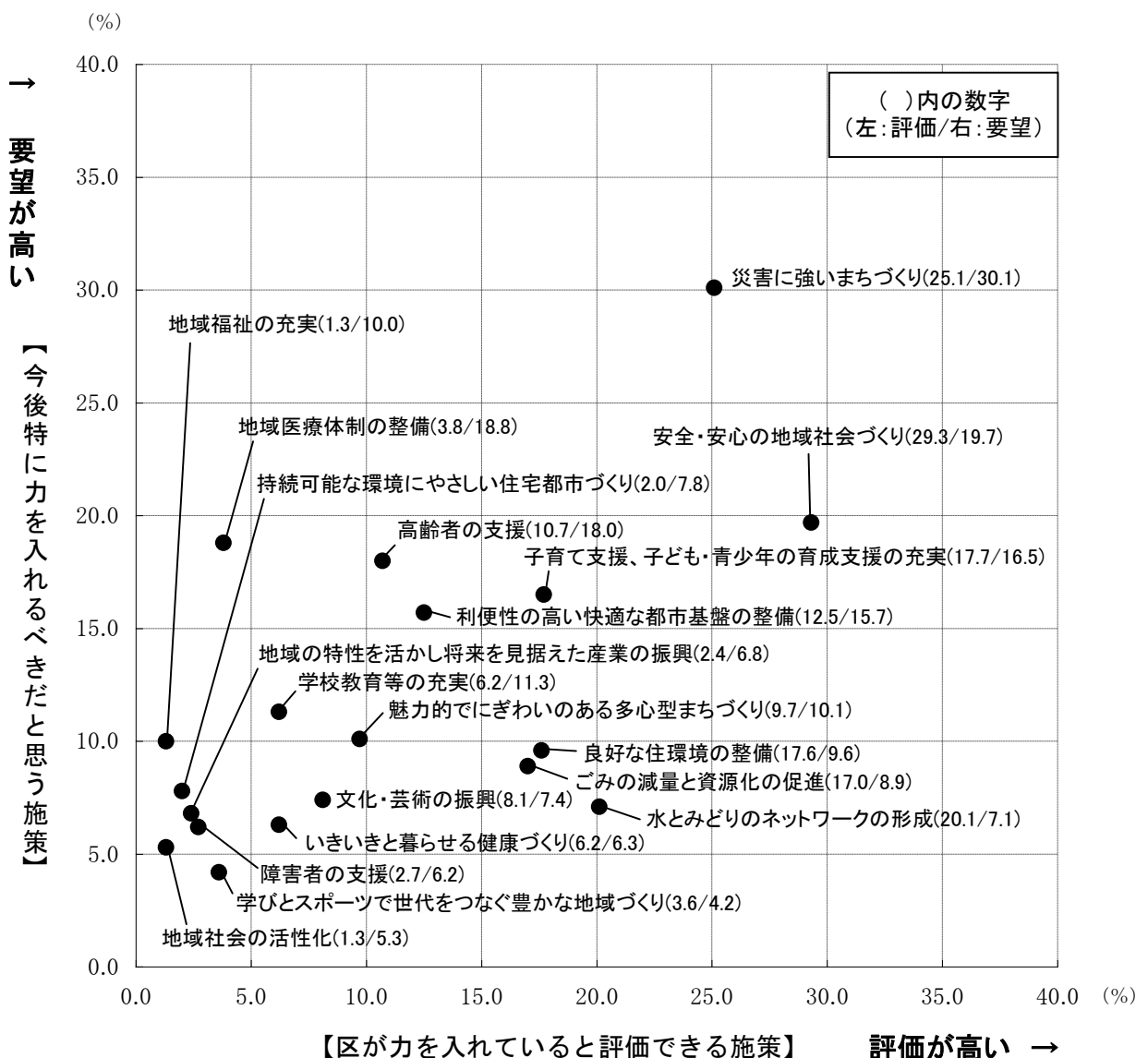
- ◆ 杉並区の事業やサービスの満足度を聞いたところ、「まあ満足している」(77.8%)が8割近くで、これに「とても満足している」(6.2%)を合わせた『満足(計)』(84.1%)は8割半ばとなっています。一方、「やや不満である」(10.7%)と「不満である」(1.4%)を合わせた『不満(計)』(12.1%)は1割を超えています。



杉並区の施策の評価と要望

施策の評価では「安全・安心の地域社会づくり」がほぼ3割
 施策の要望では「災害に強いまちづくり」が3割

- ◆ 杉並区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「安全・安心の地域社会づくり」(29.3%)がほぼ3割で最も高く、次いで「災害に強いまちづくり」(25.1%)、「水とみどりのネットワークの形成」(20.1%)、「子育て支援、子ども・青少年の育成支援の充実」(17.7%)、「良好な住環境の整備」(17.6%)などの順になっています。
- ◆ 杉並区が今後特に力を入れるべきだと思う施策を聞いたところ、「災害に強いまちづくり」(30.1%)が3割で最も高く、次いで「安全・安心の地域社会づくり」(19.7%)、「地域医療体制の整備」(18.8%)、「高齢者の支援」(18.0%)などの順になっています。
- ◆ 力を入れていると評価できる施策（施策の評価）と今後特に力を入れるべきだと思う施策（施策の要望）を相関させた散布図は以下のとおりです。横軸が施策の評価で、縦軸が施策の要望です。このグラフでは、**施策の評価が低く、施策の要望が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられます。**



第53回 杉並区区民意向調査
区政に関する意識と実態
(要約版)

令和3年10月発行

発行 杉並区 総務部 区政相談課
東京都杉並区阿佐谷南1-15-1
電話：03-3312-2111 (代)

登録印刷物番号

03-0022



杉並区

実施 株式会社エスピー研
東京都千代田区飯田橋3-11-20
電話：03-3239-0071 (代)